

# 精福会だより



## 中央ブロック (8月23日 別府市社会福祉会館)

別府市社会福祉会館で中央ブロック地域学習会が開催され

民生委員さんの研修の一環として、家族と当事者の思いを約70名の民生委員さんに聞いてもらいました。民生委員活動の一助になったと思います。多くの民生委員さん方がその現状を知らない方が多く、大変役に立ったとの感想を言われていました。

第一部 親の思いと現状

第二部 当事者の思い



## 大分ブロック (10月5日ホルトホール大分)

心の病を考える地域学習会大分ブロックがホルトホール大分で約130名の参加をえて、盛大に開催されました。施設関係者と精神科医からの視点で非常に価値の高い講演となりました。

1. 講演「意外と知らない福祉制度や共生型サービスについて」

講師 きぼう21施設長 芦刈 弘城 氏

2. 講演「心が病む人が自立するために大事なこと」

講師 大分駅前クリニック院長 穂吉 條太郎 先生



芦刈施設長



穂吉 條太郎 先生

## 明けましておめでとうございます

新しい年が始まりました。本年もよろしくお祈り申し上げます。

さて、新年を迎え、長年待ち望んでいた大分県立病院精神医療センターの開設が本年の秋に行われます。

また、大分県においては精神障がい者に対するバス運賃割引が平成30年4月から実施され、国内においては航空運賃の割引が実施されるなど、徐々に、精神障がい者と家族を取り巻く環境が改善されてきております。

今後においてもこの流れを継続させるとともにまだ完全に実施されていない医療費助成やJRの運賃割引などにも力を入れ、偏見と差別のない社会づくりに努力してまいります。皆様方のさらなるご協力とご支援をお願い申し上げますとともに、本年が皆様方にとって、よりよい年となりますようお祈り申し上げます。

大分県精神保健福祉会 会長 神田 弘法

## 県北ブロック (11月23日教育福祉センター)

心の病を考える地域学習会県北ブロックが約80名の参加者をえて、開催されました。山内先生のわかりやすい大分弁を使った共生社会の実現のお話により、障がいのあるなしにかかわらず、地域で支え合って、共に生活することの大切さを学ぶことが出来ました。

1. 講演「地域共生社会の実現への挑戦」

～障がいのある人もない人もともに暮らしやすい地域・社会をめざして～

講師 共生社会実現サポート機構(とんとんとん)

代表 山内 勇人 先生



会場の様子



山内先生の講演



# 豊肥ブロック（1月21日 神楽会館）

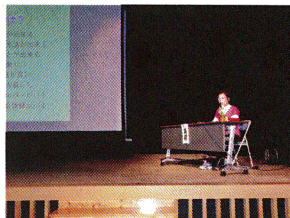
心の病を考える地域学習会豊肥ブロックが豊後大野市神楽会館で約150名の参加のもと盛大に開催されました。

講演には大分市内で長年訪問看護を主にやられている酒井さんが1時間にわたり話をしてくださいました。長年現場で培った経験をもとに、当事者や家族に寄り添った内容で酒井さんの思いに会場の皆さんの心をうったようです。次に当事者の方の話があり生きづらさの中でも、頑張る思いが発表され病に立ち向かう姿勢に感動しました。その後三重総合高校神楽部の演武が1時間にわたってあり、神楽の優美さと荒々しさが相まって、とても魅了されたアトラクションとなりました。高校生の皆さんは真剣に踊られており、大変疲れたと思います。お疲れ様でした。

## ◎講演「訪問看護を通して思うこと」

講師 訪問看護ステーション代長 酒井 絹恵 さん

## ◎アトラクション 三重総合高校神楽部 演舞



酒井代表の講演



高校生の演舞の様子

# 各協議経過

## ・2月21日 大分県タクシー協会と協議

バスと同じく長年の懸案事項であったタクシー運賃の割引については、平成31年2月21日に大分県タクシー協会と話し合いをもちました。三障害一元化のもと、他障がいを受けているタクシー運賃割引を精神障がい者にも是非ともお願いしたいと要望いたしました。タクシー協会側の経営状態もあり、困難な状況ではあるが、九州運輸局に運賃値上げと同時に精神障がい者運賃割引申請も出しているとの回答をえました。今までになかった回答であり、今後の状況を待ちたいと思います。

## ・7月26日 JR九州及び九州運輸局と協議

九州各県の代表者12名が集いJR九州と九州運輸局との協議を行なってもらいました。

鉄道運賃について、他障がいと同様に運賃割引を実施してもらいたい旨の要望を手渡しました。

手渡す段階でマスコミ（新聞社2社）にはいってもらい、要望の内容とその意義について説明をいたしました。3年前から協議を続けておりますが、JR九州一社での実施は難しい。また、行政の福祉の関係で実施してもらいたい旨の話に終始して、前年と同様に進展はありませんでした。

しかしながら、JR6社の協議会があるため、その時にこの件について、検討してもらうことと中央と国土交通省との話し合いを持ってもらいたい旨依頼しておきました。今後についても、引き続き要望協議をもつ旨九州沖縄各県と確認いたしました。

## ・8月27日 大分県と協議

下記の3点について、話し合いを持ちました。

- ① 24時間・365日対応の精神科救急医療体制の整備
- ② タクシー等の公共交通運賃の割引適用について
- ③ 他障がいと同等の医療費負担の助成について

県側は①についてはこれからの協議会の協議によるが夜間休日の緊急体制については、対応していく②については今後も引き続き協力していきたい。③については財政上の負担も大きいですが、検討していきたいとの回答でした。今後も継続的に交渉を続けていきたいと思います。

長年の懸案事項であった精神障がい者バス運賃割引制度については、大分県の協力もあり平成30年4月から実施となり、県側に感謝を申し上げます。大いにバスを利用して戴きたいとの話がありました。

《全国の家族と家族会をつなぐ機関誌》

《最新の精神保健医療福祉の情報誌》

「月刊みんなねっと」を購読（賛助会員加入）しませんか！

・個人月300円 ・団体月300円×人数（2名以上）  
団体については一部還元があります

〈郵便局振込先〉

〔みんなねっと〕（全国精神保健福祉会連合会）

〔口座番号〕 00130-0-338317

連絡先 tel 03-6907-9211 fax 03-3987-5466

## 令和元年度 第27回

### 福祉サービス・指導員・家族研修会のご案内

#### 1. 日時 令和2年2月29日（土）午前10時～

本年度から、皆様方の休みの日の開催の要望を受け、土曜日1日の開催となりました。

#### 2. 会場 豊泉荘 別府市青山町

#### 3. 内容

基調講演「家族は家族である前に自らの人生の主人公」

～精神障がいのある本人や家族との追体験を通して～

講師 日本福祉大学 教授 社会福祉学博士

青木 聖久 先生 am10:40～11:50

今回の基調講演は、みんなねっと誌の「知ることは生きること」でお馴染みの青木聖久先生で、精神障がい者本人や家族の追体験を通して、他の人の人生を知り、自分の暮らしを考える本当にいい機会になると思います。多くの方の参加をお願いします。

2部 県精福会と大分県の精神保健行政の報告について

3部 きぼう21の職員によるバイオリン演奏

4部 部会別研修会

懇親会pm6:00～